

金山中相撲部

地区中総体での初優勝——
個人で出場した全国大会で白星——
今年、金山中相撲部が躍進しました

躍進のキセキ



全国大会で白星！

山口県で開催された全国大会で庄司倭さんが1勝を挙げました。庄司さんは「とても楽しかった。でもまだ相撲がとりたかった」と悔しさをにじませながらも、大舞台での白星の喜びを噛みしめているようでした。



最上地区中学校総合体育大会相撲団体一部（全学年）において、金山中相撲部が初優勝の栄冠を手に入れました。続く県大会では2年連続となる3位入賞を果たし、東北大会に出場。また、個人競技では県大会2位に入賞の庄司倭さん（板橋）が全国大会で白星を挙げるなど、金山中相撲部にとって、大躍進を遂げた1年となりました。

部員は臨時として柔道部・卓球部から、伊藤大悟さん（七日町）、庄司倭さん（板橋）、高橋海人さん（魚清水）、伊藤輝さん（魚清水）、長倉佑吾さん（荒屋）の5名を選出。体重が軽いという昨年の課題を克服するべく、佐藤コーチお手

「練習中、地域の人からの応援の言葉がとても励みになった」と部長の高橋さんは話します。その言葉に応えたい気持ちで頑張ったと続け、選手らは大きくうなずきます。地域の後押しと子ども達の心身の成長が、大躍進を遂げた大きな要因となりました。

製の「特製ちゃんこ」で増量を図りました。また、今年も羽場地区の土俵で2か月間みっちり練習。「相手が大きくても、勇気をもってぶつかれるよう指導した」と顧問の齊木先生は話します。毎日のように土俵に通い、技術的な面はもちろん、精神面も十分に鍛錬して臨んだ成果が結果にも表れました。